

平成 30 年度「山梨大学助産外来研修会」

の開催について

1. 趣旨

助産外来と院内助産からなる「院内助産システム」は妊婦さんの「満足度」を高め、「安全性」も担保することを目標としたものであり、山梨大学では全国の大学病院に先駆けて院内助産システムの開設し、さらに助産師の教育制度についての研究を進めてきました。

まず平成 21 年より 9 年間「助産外来研修会」を開催し、これまで山梨県内外の総勢 206 名の助産師の方々が助産外来資格を認定されており、徐々に各医療機関で助産外来が開設されています。

平成 30 年度も引き続き「助産外来研修会」を開催したいと思っておりますので、ふるってご参加下さい。

さらに、平成 22 年度から 8 年間にわたり「院内助産研修会」も開催し、母体危機的出血への対応や、経膈エコーシミュレータを含む実習を行いました。資格試験を行い、これまで山梨県内の総勢 138 名の助産師の方々が院内助産資格認定されており、院内助産も徐々に開設されています。後日、院内助産研修会のご案内もさせていただく予定ですのでよろしくお願い致します。

2. 主催等

山梨大学医学部地域周産期等医療学講座、山梨大学医学部産婦人科講座、
山梨県

3. 実施時期

平成 29 年 7 月 21 日（土）9 時～17 時ごろ

4. 研修会の内容

(1) 対象者：

助産外来研修会：助産師免許取得後 3 年程度の経験を持つ助産師

- (2) 募集人数：12人程度
- (3) 料金：無料
- (4) プログラム

平成30年度 助産外来研修会予定

講義、実技

平成28年7月21日(土)

1. 産科医から 山梨大学医学部産婦人科講座 平田修司

2. 院内助産システムマニュアルについて(助産外来編)
山梨大学医学部地域周産期等医療学講座 渡邊弓花
3. 助産師外来を实践しての現状と課題
山梨大学医学部附属病院産科病棟助産師(未定)
4. 「産婦人科診療ガイドライン産科編2014 妊娠中の管理」について
山梨大学医学部地域周産期等医療学講座 奥田靖彦
5. 助産外来における超音波検査(講義)
山梨大学医学部地域周産期等医療学講座 奥田靖彦
6. 超音波トレーニングシュミレーターによる超音波断層法の実際
山梨大学医学部地域周産期等医療学講座 奥田靖彦、渡邊弓花

7. 筆記試験

*上記の講義の順番は適宜変更します。また、適宜休憩、昼食の時間を設定します。

*終了は16~17時ごろを予定しています。

(5) 場所

山梨大学医学部（玉穂キャンパス）融合研究棟 4 階会議室

広域マップ

所在地：〒409-3898 山梨県中央市下河東 1110



平成 30 年度院内助産研修会予定

1. 院内助産システムマニュアルについて（院内助産編）
2. 新生児の診察（新生児ビリルビン検査、血糖検査、聴覚スクリーニング検査）
3. 産科ガイドライン 2014 分娩編 1
-微弱陣痛への対応、分娩誘発の方法、子宮収縮薬の使用法など
4. 産科ガイドライン 2014 分娩編 2
-分娩監視の方法、CTG 判読法について
5. 妊産婦の入院時診察、退院時診察、1 か月健診について
6. 超音波トレーニングシミュレータによる経膈超音波断層法の実際
7. 院内助産を実践しての現状と課題
8. 母体の異常事態（子癇発作、塞栓症など）に対する対応法
産婦人科的 BLS、ACLS
9. 会陰裂傷縫合の初歩的な実技